

## 単元名 絵や彫刻との出会い(オリエンテーション)

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わうことができる。  
(3) 作者の心情や意図と表現の工夫などを主体的に感じ取ろうとする。

## 標準的な展開例

10270101\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 小学校の図画工作科での学習内容を確認するとともに、第1学年での学習内容を知り、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校での学習内容を発表する。</li> <li>○ 第1学年での制作や鑑賞の計画とその内容を知り、関心をもったことをワークシートに記入する。</li> <li>★ 作品を見て感じたことを発表しよう。</li> <li>○ 教科書図版の参考作品を鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「種まく人」ゴッホ</li> </ul> </li> <li>○ ゴッホについて知る。</li> <li>○ 鑑賞した感想をワークシートに記入したり、発表したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校での学習内容を想起させる。</li> </ul> <p>【評】 小学校での学習内容を制作した作品や技法などの観点で想起し、発表する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴッホの作品の変遷や浮世絵の影響、色彩の組み合わせに着目させ、作品から受けた印象を言葉にさせる。</li> <li>・ オランダからフランスに移り住んだ過程で、描き方や色彩が変化するさまや、画家が表現したいという意識の変化を追っている点や、図版から見て取れる荒々しいタッチにも着目させる。</li> <li>・ 作品から分かったことだけでなく、他の人の意見を聞いて、考えたことも書くようにさせる。</li> </ul> <p>【評】 作品の造形的なよさや美しさ、対象のイメージなどを感じ取り、自分の思いや考えをもって説明し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

中学校の美術と出会う本単元では、教科書の作品例や参考作品の鑑賞を通して、構図や色彩、描き方の効果を感じ取らせたり、画家の生き方に触れさせたりすることで、主体的に表現活動を行う意欲を喚起したい。

ゴッホの作品（教科書P. 70～72）を鑑賞し、感想を説明し合う活動を通して、作者や作品に対しての見方を深めさせたい。

美術の授業に意欲的に取り組もうとする気持ちをもたせることが、オリエンテーションのねらいである。中学校最初の授業ということで、以下の点についても指導したい。

- ・ 美術室の施設や設備の扱い方
- ・ 授業を進める上での約束事
- ・ 制作した作品を大切に扱うことなど

生徒は作品を鑑賞するときに「上手か下手か」といった技能面を重視しがちであるが、「自分らしく表現できているか」という観点も重要であることに気付かせたい。また、制作過程を大切にすることで、学習を深めようとする意欲や態度が重要であることを理解させたい。